

令和4年度 橿原市昆虫館活動報告

橿原市昆虫館

Annual report for the fiscal year 2022 of Kashihara City Museum of Insect

Kashihara City Museum of Insect

令和4年度は昨年度に引き続きコロナウィルス感染症対策に伴い、各活動も例年に比してその開催数や、募集人数等を大幅に削減している。

展示活動

特別展

「ぶんぶん～にぎやかなカナブンの世界～」

7月16日(土)～10月16日(日) 期間入館者：
29,806名

主担当：池田

企画展

「昆虫標本の作り方・基本編」

4月12日(火)～7月10日(日) 期間入館者：
22,949名

主担当：辻本

「虫から見える飛鳥地域」

10月18日(火)～1月15日(日) 期間入館者：
12,273名

主担当：木村

「昆虫ってどんなものがあるの？～身近な昆虫で見よう～」

1月17日(火)～4月16日(日) 期間入館者：
13,005名

主担当：辻本

普及教育活動

野外観察会

「冬の虫観察会」

1月22日(日) 参加者：39名

見学案内

昆虫館バックヤードツアー

2月23日(木・祝) 参加者：39名

むしムシゼミナ～「企画展の展示解説」

3月19日(日) 参加者：6名

新館企画

新春企画昆虫館オリジナル「おみくじ」

1月3日(火)～1月20日(金) 期間入館者：1,867名
配布：1,368名

主担当：池田

連携事業活動

観察会・イベント

「夏休み宿題応援イベント 昆虫標本を作ってみよう！」

8月24日(水) 参加者：43名

・連携先：ふたかみ文化センター

「千塚 KoFun フェスタ 2022」

11月13日(日) 参加者：263名

・連携先：文化財保存活用課

展示

「子どもたちあつまれ！むしむしスタジアム！！」

7月16日(土) 試合観戦者数：645名

・連携先：奈良クラブ

「夏のかしはらワークショップ」

7月31日(日) ブース来訪者:836名
 ・連携先:大和リゾート株式会社 THE KASHIHARA

「子どもたちあつまれ!むしむしスタジアム!!」
 9月3日(土) 試合観戦者数:3200名
 ・連携先:奈良クラブ

「春のかしはらワークショップ」
 3月26日(日) ブース来訪者:841名
 ・連携先:大和リゾート株式会社 THE KASHIHARA

メディア出演

オオムラサキについてのラジオ出演

NHK大阪拠点放送局

6月9日(木) NHKラジオ第1放送「関西ラジオワイド」に生出演

出演者:池田

オオムラサキテレビ撮影

NHK奈良放送局

6月21日(火) NHK総合「ならナビ」内コーナー「おでかけナビ」で放送

出演者:職員出演なし

映像解説

フジテレビ系各局

12月28日(火)「世界の何だコレ!?ミステリー」内コーナー「世界で撮影された何だコレ!?映像」で放送

出演者:池田

昆虫館紹介

NHK奈良放送局

3月20日(月) NHK総合「ならナビ」内コーナー「逢香の華やぐ大和「サンシュユの丘」」で放送

出演者:辻本

教育支援活動

モンシロチョウ飼育教材配布・出前授業

5月10日(月)～5月27日(木) 市内小学校14校 明日香村1校

奈良県立青翔中学校・高等学校昆虫館見学

6月25日(土) 生徒60名・教員4名

富雄北小学校講師依頼

6月30日(木) 生徒90名 協議会6名

令和4年度飛鳥里山クラブ第28期生養成講座「救急・救命講習」講師依頼

6月30日(木) 13名

田原本町教育委員会講師派遣依頼

8月12日(金) 3家族 6名

桜井市立幼稚園教育研究会研修会

8月18日(木) 研究会会員20名

耳成南小学校出前講座

11月1日(火) 4年生対象

新沢地域子ども教室講師派遣

11月12日(土)

白檀北小学校ビオトープ講師

12月20日(日) 白檀北小学校教員:10名

博物館実習

8月18日(木)～8月22日(月) 大学生:6名

調査活動

八重山諸島採集調査

令和4年12月13日(火)～12月15日(木)

令和5年2月24日(金)～2月28日(火)

飛鳥地域における昆虫相調査

「カーテン式ライトトラップを用いた走光性昆虫の調査」

実施日:5月4日、6月1日、6月29日、7月28日、9月11日、9月25日、10月27日、11月25日(計8回)

調査地:明日香村栢森 飛鳥川の河川敷

生物多様性飛鳥地域保全活動推進協議会調査

「ニッポンバラタナゴ保護増殖試験調査」

実施日:4月21日、5月19日、6月16日、7月21日、8月18日、9月15日、10月27日、11月17日、12月18日

調査地:橿原市今井町 環濠内の水域

共同調査者:北川 忠生(近畿大学教授)、中西 亮太(近

畿大学大学院)

「ため池の外来種駆除調査」

実施日：1月30日

調査地：内垣内池（明日香村橋）

印刷物制作活動

生物多様性飛鳥地域保全活動推進協議会刊行物
飛鳥地域レッドデータ生物ハンドブック昆虫編
1000部 発行

業績公表活動

書籍

池田大, 2022. アリジゴク. pp. 22-27. 全国昆虫施設
連絡協議会 (著). 昆虫館はスゴイ! 2 昆虫館スタッフの
内緒話, 224pp. repicbook, 埼玉.

辻本始, 2022. 天敵を撃退するスーパーちょうちょ.
pp. 116-119. 全国昆虫施設連絡協議会 (著). 昆虫館は
スゴイ! 2 昆虫館スタッフの内緒話, 224pp. repicbook,
埼玉.

野川裕司, 2022. ミカドアゲハに魅せられて. pp. 126-
129. 全国昆虫施設連絡協議会 (著). 昆虫館はスゴイ! 2
昆虫館スタッフの内緒話, 224pp. repicbook, 埼玉.

辻本始, 2022. アゲハチョウの幼虫の代替餌の探求.
pp. 144-149. 全国昆虫施設連絡協議会 (著). 昆虫館は
スゴイ! 2 昆虫館スタッフの内緒話, 224pp. repicbook,
埼玉.

丸山宗利 (総監修), 2022. 昆虫 新版 学研の図鑑
LIVE : 1.316pp. 学研プラス, 東京. (池田大が白バッ
ク撮影隊チームに参加)

論文・報文

辻本始, 2022. 今月のむし イボバッタ. 月刊むし
(611) : 1.

辻本始, 2022. 石垣島と小浜島・西表島のクガニフキ
バッタの模様の違いについて. 月刊むし (611) : 37-40.

辻本始, 2022. アオミオカタニシが飼育下で2161日
(5年と335日) 生きました. Nature Study68(2) : 3,
16.

池田大・吉富博之・明尾亮佑, 2022. 愛媛県における
オオセンチコガネとクロボシヒラタシテムシの低標高地
での採集例. SAYABANE N. S. (47) : 59-61.

発表

池田大, 2022. ヒメタイコウチの生息域外保全事業に
ついて. 令和4年度全国昆虫施設連絡協議会(口頭発表).
2022年9月6日.

池田大・宮武頼雄, 2022. 奈良県の最近のセミ事情. 日
本セミの会第97回談話会(口頭発表). 2022年10月
22日.

池田大, 2023. ジョウカイモドキについて. 日本甲虫
学会 2023年度第1回大阪例会(口頭発表). 2023年
3月19日.

資料収集保管活動

館員の資料収集

「飛鳥地域における昆虫相調査」

実施日：5月4日、6月1日、6月29日、7月28日、
9月11日、9月25日、10月27日、11月25日(計8回)
担当者：木村、池田

図書資料

刊行物(雑誌 377点、図書 74点)

寄贈資料受領

昆虫標本 153個体 「オガサワラハンミョウの標本」
(環境省：令和4年6月2日)

昆虫標本 2個体 「シタベニハゴロモの標本」
(京都大学大学院 昆虫生態学研究室 博士研究員 神
山 マット氏：令和4年9月8日)

写真絵本 2点 「ゴマちゃんがとんだ！」
(安長 義高氏・安長 妙子氏：令和4年9月27日)

昆虫標本 1箱 「セミ類の標本」及び書籍 1点
「Insecta Shiyakeana 初宿成彦さん退職記念論文集」
(宮武 頼夫氏：令和4年11月1日)

生体育成管理活動

チョウ類育成管理

令和4年度月間放蝶数

種名	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計	平均
アゲハチョウ科														
ジャコウアゲハ	39	63	49	54	20	32	40	27	70	43	93	65	595	49.58
ナミアゲハ	0	60	17	0	10	1	11	0	4	2	9	1	115	9.58
キアゲハ	0	0	0	0	0	9	0	0	0	0	0	0	9	0.75
シロオビアゲハ	61	73	76	25	51	80	223	83	170	118	94	107	1161	96.75
モンキアゲハ	0	0	6	0	0	1	0	0	0	0	0	0	7	0.58
クオアゲハ	0	0	41	26	96	22	0	5	0	0	0	3	193	16.08
ナガサキアゲハ	0	12	14	19	85	7	9	1	0	0	0	0	147	12.25
カラスアゲハ	5	0	68	15	0	0	56	0	1	1	0	0	146	12.17
アオスジアゲハ	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	1	0.08
ヤエヤマカラスアゲハ	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	1	0.08
ギフチョウ	8	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	73	81	6.75
シロチョウ科														
キチョウ(ミナミキチョウ)	0	0	0	0	0	0	0	0	10	0	0	2	12	1.00
ツマベニチョウ	10	98	10	48	44	17	50	22	69	16	104	18	506	42.17
モンシロチョウ	0	26	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	26	2.17
マダラチョウ科														
アサギマダラ	0	40	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	40	3.33
ヒメアサギマダラ	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	6	6	0.50
リュウキュウアサギマダラ	34	47	19	118	105	179	168	147	116	108	76	113	1230	102.50
スジグロカバマダラ	17	9	26	19	11	2	0	10	11	19	28	49	201	16.75
オオゴマダラ	243	205	249	182	216	92	139	202	178	260	262	277	2505	208.75
ツمامラサキマダラ	169	8	58	84	57	8	4	39	13	36	18	25	519	43.25
タテハチョウ科														
ツマグロヒョウモン	0	0	27	0	0	0	0	0	0	0	0	0	27	2.25
アオタテハモドキ	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	1	0.08
タテハモドキ	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	2	2	0.17
リュウキュウムラサキ	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	2	2	0.17
カバタテハ	27	104	56	82	64	33	25	74	77	97	117	121	877	73.08
オオムラサキ	0	0	200	600	0	0	0	0	0	0	0	0	800	66.67
スズメガ科														
オオスカシバ	3	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	3	0.25
計	613	745	916	1272	759	483	725	610	719	700	801	867	9210	767.50

※この他にツمامラサキマダラは放蝶温室内にも、多数発生している。

食草等育成管理

食草栽培生育状況	
◎食草栽培温室≪約 180 m ² ≫	○：生育良好 △：生育普通 ×：生育不良
植 物 名	生 育 状 況
ホウライカガミ	○
リュウキュウガシワ	△
ツルモウリンカ	○
ギョボク	○
ヒマ	○
セイタカスズムシソウ	○
トウワタ	△
サツマイモ	△
リュウキュウウマノスズクサ	△
◎N温室≪約 70 m ² ≫	○：生育良好 △：生育普通 ×：生育不良
植 物 名	生 育 状 況
ホウライカガミ	×
リュウキュウガシワ	×
ツルモウリンカ	○
リュウキュウウマノスズクサ	△
ギョボク	○
ガジュマル	○
◎ガラス温室≪約 100 m ² ≫	○：生育良好 △：生育普通 ×：生育不良
植 物 名	生 育 状 況
柑橘類（ブンタン・レモン）	×
ギョボク	○
ヘンルーダ	△
◎パイプハウス	○：生育良好 △：生育普通 ×：生育不良
植 物 名	生 育 状 況
ホウライカガミ	×

リュウキュウガシワ	×
ツルモウリンカ	○
◎周辺の畑・その他	○：生育良好 △：生育普通 ×：生育不良
植 物 名	生 育 状 況
柑橘類（ハッサクほか2種）	○
キハダ	○
カラスザンショウ	○
サンショウ	△
ヘンルーダ	△
コクサギ	○
カラタチ	○
エノキ	○
イヌビワ	○
カンアオイ	○
ウマノスズクサ	△
ギョボク	○

蝶の幼虫が食べる食草の栽培は、主にオオゴマダラの食草ホウライカガミやリュウキュウアサギマダラの食草ツルモウリンカ、スジグロカバマダラの食草リュウキュウガシワを食草栽培温室やパイプハウス、N温室の3ヵ所で栽培を行なった。

また、アゲハチョウ科の食草の柑橘類やカラスザンショウ・キハダは主に周辺の畑で栽培し、鉢植えとしてガラス温室でヘンルーダの栽培も行なった。

他には、カバタテハの食草ヒマやツマベニチョウの食草ギョボクも食草栽培温室やN温室のほか、暖かい季節には野外でも栽培を行なった。

食草の生育状況は、ツルモウリンカやギョボク、ヒマ、柑橘類は比較的順調である一方、リュウキュウガシワ、リュウキュウウマノスズクサなどはキョウチクトウアブラムシやコナカイガラムシなどの害虫により十分な量を確保するのが困難な時があった。

ギョボクやガジュマルは順調であった。

害虫に対しては、適宜手による除去や水流、刈り込みによる駆除を実施するとともに、発生が多い時には分解性の早いピレトリン（除虫菊の成分）を使った農薬を使用した。

他にもつる性の植物に対し高さのある手を使うことにより上への伸長を促し、葉を増やすなどの工夫も行った。

蜜源植物生育状況

・ランタナ(クマツヅラ科)

令和3年度と同様、生育は良好で多く利用できた。

・ペンタス(アカネ科)

令和3年度と同様、生育は良好で多く利用できた。

・ヒヨドリバナ(キク科)

マダラチョウにPAという物質を供給する重要な植物であるが、令和3年度と同様、生育は良好で多く利用できた。

・フジバカマ(原種)(キク科)

季節ものであるため導入は秋に限られるが、ヒヨドリバナ同様マダラチョウが非常にこの花を好むため、導入した際には多くのマダラチョウが吸蜜に訪れた。

・ユーパトリウム(キク科)

こちらもヒヨドリバナに近縁の花で、かつヒヨドリバナの少ない冬場に花が咲くため、冬場のPA摂取植物として有効である。放蝶温室に地植えにしたものが大きな株になり多く開花した。

・サントウカ(アカネ科)

令和3年度同様、コナカイガラムシが発生しやすく開花させるまでに少し難があったが、開花して導入すれば多くのアゲハチョウが吸蜜に訪れた。

・ハイビスカス(アオイ科)

令和3年度と同様、生育は良好で多く利用できた。

・ヘリオトロープ(ムラサキ科)

令和3年度と同様、生育は良好で多く利用できた。

・チリメンナガボソウ(クマツヅラ科)

令和3年度と同様、生育は良好で多く利用できた。

・カランコエ(ベンケイソウ科)

鉢物のみ栽培し、短日植物のため花は秋頃から

冬にかけて咲く花である。害虫発生と株が古くなったことにより少し不調気味であった。

・トウワタ(ガガイモ科)

鉢物のみ栽培しており、花が咲けば蜜源となるが、葉はツمامラサキマダラの食草となるため、温室内で自然に成長した幼虫は幼虫の展示となっている。ただし花も食べるため、幼虫がつくと花を長く維持するのが難しかった。また、キョウチクトウアブラムシが発生しやすいので、手で潰したりピレトリンの殺虫剤を使うなどしたりして抑制に努めた。株が古くなってきて弱ってきたものは適宜実生苗を作り、交換した。

他にもブットレアやニンジンボク、タイワンレンギョウ(デュランタ)などの鉢を少数ではあるが花が咲き次第放蝶温室に導入している。また令和3年度には冬場の花が少なくなる時期には毛糸のボンボリを使ってスポーツ飲料を与えたが、チョウが多く集まって展示効果が高いため、令和4年度は年中放蝶温室内に導入した。

生体展示室関連育成管理

令和4年度 生態展示

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	
水槽①	水の中に棲む虫たち (カメムシの仲間) ・タガメ ・ミズカマキリ												
水槽② (カメラ組込)	水の中に棲む虫たち (コウチュウの仲間) ・ゲンゴロウ ・クロゲンゴロウ ・ハイイロゲンゴロウ ・ガムシ												
陸槽④ (カメラ組込)	樹液に集まる昆虫 ・ヘラクレスオオカブト ・アクティオンゾウカブト ・カブトムシ ・ニジロクワガタ ・ギラファノコギリクワガタ ・スマトラヒラタクワガタ +・ノコギリクワガタ・ミヤマクワガタ・アハシクワガタ												
陸槽⑤	カマキリ ・ハナカマキリ ・メダマカレハカマキリ												
陸槽③	生態展示の旬な虫 ・タイワンクツワムシ												
ミニ企画													
陸槽⑥	昆虫館のまわりの虫たち 4/26-7/18 (谷間)			ぶんぶん 7/20-9/11 (島瀬)			昆虫館のまわりの鳴く虫 たち 9/13-11/20 (瀬川)			だんごむし 11/22- (池田)		八重山の虫 3/13-	
	生体展示26種 写真のみ展示48種 延べ73種 ※6月30日時点			日本産種5種 (カナブン、シロテンハナムグリ、シラホシハナムグリ、ミヤマオハナムグリ、リュウキュウツヤハナムグリ) 外国産種7種 (クビワオオツノカナブン、オオナガカナブン、シュルツサスマタカナブン、モルガンサスマタカナブン、キンイロサスマタカナブン、ミカンスオオツノカナブン、シロヘリオオツノカナブン、キンイロヒラスカナブン)			マツムシ、スズムシ、クツワムシ、ハヤシノウマオイ、サトクダマキモドキ、エンマコオロギ、その他コオロギ類 (オカメコオロギなど)、ササキリ、ホシササキリ、オナガササキリ、クビキリギス、クサキリ、セスジツユムシ、カンタン、カネタタキ			オカダンゴムシ、クマワラジムシ、オカダンゴムシレッド、ゲストロイ、パークション、モンテネグロ、セブラ		ツダナナフシ、ヤエヤママダラゴキブリ、クロカタゾウムシ、チナホシキンカメムシ、ヤエヤマサソリ、タイワンサソリモドキ	
暗室	絶滅のおそれのある昆虫の生息域外保全事業 ・ヒメダイコウチ												
新館展示室① (中)	ナナフシのへや ・ヤエヤマトガリナナフシ												
ロビー	エントランス 展示 ・スズムシ												

令和4年度 櫃原市昆虫館活動報告

令和4年度 生態展示等での昆虫等の飼育状況																														
グループ	種名(和名)	備考	R3.3末	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	その他														
以下、左：♂(オス) 右：♀(メス) の個体数 (多：50頭以上)																														
カブトムシ類	カブトムシ		17	7	20	12	15	8	13	11	35	33	34	40	26	21	13	17	7	5	10	6	9	6	7	7	5	7		
クワガタムシ類	オオクワガタ		3	2	4	4	4	3	5	1	5	1	5	1	5	1	5	1	5	1	5	1	4	1	4	1	5	1	11	23
	ヒラタクワガタ		0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
	ミヤマクワガタ		0	0	0	0	0	0	1	0	1	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
	ノコギリクワガタ		0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
	コクワガタ		0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
アカアシクワガタ		0	0	0	0	0	0	0	1	0	2	0	2	0	2	0	2	0	2	0	1	0	1	0	0	0	0	0		
水生昆虫																														
以下、左：成虫 右：幼虫の個体数 (多：50頭以上)																														
カメシ目	タガメ		20	0	17	0	16	45	18	9	24	0	23	0	23	0	22	0	22	0	20	0	20	0	20	0	18	0		
	コオイムシ		0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0		
	タイコウチ		0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0		
	ミズカマキリ		2	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	1	0	4	0	4	0	4	0	4	0	3	0	3	0	
	ヒメミスカマキリ		0	0	0	0	0	0	0	0	16	0	2	2	0	12	0	11	0	11	0	11	0	11	0	11	0	11	0	
コウチュウ目	ゲンゴロウ		18	0	18	0	12	3	10	5	9	0	7	0	6	0	6	0	6	0	5	0	3	0	3	0	3	0		
	クロゲンゴロウ		6	0	6	0	6	0	4	0	4	0	4	0	3	0	1	0	15	0	14	0	12	0	12	0	12	0		
	コガタノゲンゴロウ		0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	5	0	5	0	5	0	5	0	5	0	11	0	
	トビイロゲンゴロウ		0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	20	0	
ガムシ		0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	7	0	6	0	3	0	2	0	2	0	2	0		
陸上昆虫																														
以下、左：成虫 右：幼虫の個体数 (多：50頭以上)																														
ゴキブリ目	オオゴキブリ		多	多	多	多	多	多	多	多	多	多	多	多	多	多	多	多	多	多	多	多	多	多	多	多	多	多		
	ヤエヤマオオゴキブリ	八重山諸島	多	多	多	多	多	多	多	多	多	多	多	多	多	多	多	多	多	多	多	多	多	多	多	多	多	多		
	ヤエヤマダラゴキブリ		0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	1	0	1	0	3	1		
ナナフシ目	ヒメマルゴキブリ	八重山諸島	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0		
	ヤエヤマトガリナナフシ	八重山諸島	多	多	多	多	多	多	多	多	多	多	多	多	多	多	多	多	多	多	多	多	多	多	多	多	多	多		
	ツダナナフシ	八重山諸島	22	多	11	多	10	多	25	多	35	30	多	多	多	多	多	30	多	20	多	40	多	40	多	40	多	40	多	
バッタ目	コブナナフシ		10	多	16	多	多	多	多	多	25	多	20	多	30	多	23	多	30	多	25	多	17	多	20	多	25	多		
	タイワンクヅウムシ	八重山諸島	多	多	16	多	20	多	20	4	30	多	多	多	30	多	多	多	多	多	多	多	多	多	多	多	多	多		
	ムニンエンマコオロギ	小笠原諸島	多	多	多	多	多	多	多	多	多	多	多	多	多	多	多	多	多	多	多	多	多	多	多	多	多	多		
	スズムシ		多	多	多	多	多	多	多	多	多	多	多	多	多	多	多	多	多	多	多	多	多	多	多	多	多	多		
マツムシ		0	0	多	多	多	多	多	多	多	多	多	多	多	多	多	多	多	多	多	多	多	多	多	多	多	多			
カメシ目	オオキンカメシ		10	0	6	0	3	0	2	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0			
	ナナホシキンカメシ	八重山諸島	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	10	0		
コウチュウ目	オオシマダボタル	八重山諸島	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0		
	オオゾウムシ		0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0		
	オキナクワゾウムシ		0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	1	1	1	1	1	0	1		
その他	クロカタゾウムシ	八重山諸島	多	多	多	多	多	多	多	多	多	多	多	多	多	多	多	多	多	多	多	多	多	多	多	多	多	多		
	ヤエヤマサソリ	八重山諸島	1	0	1	0	1	0	1	12	1	6	1	0	1	0	1	0	1	0	1	0	1	0	1	0	1	0	2	
タイワンサソリモドキ	八重山諸島	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	2	0	2	0	2	0	3	5			
外国産																														
以下、左：♂(オス) 右：♀(メス) の個体数 (多：50頭以上)																														
コウチュウ目	ヘラクレスオオカブト	ヘラクレス亜種	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0		
	ヘラクレスオオカブト	リックイー亜種	2	2	2	3	1	3	1	2	1	2	3	2	4	2	4	3	4	4	4	4	7	7	7	7	10	7		
	アクティオンゾウカブト		1	0	1	0	3	1	4	1	3	1	2	1	1	0	2	0	1	0	1	0	1	0	1	0	0	0		
	エレファソウカブト		0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0		
	ヒラタクワガタ	スマトラヒラタクワガタ	1	5	2	5	2	5	3	5	2	4	3	5	3	4	3	4	4	3	4	1	3	1	3	0	3	0		
	ギラファノコギリクワガタ	亜種不明	3	5	6	5	8	4	10	1	9	1	9	1	9	0	9	0	8	0	8	0	8	0	8	3	8	3		
	バブアキンイロクワガタ		0	3	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0		
	ニジイロクワガタ		2	11	5	6	5	9	5	10	3	8	3	9	4	9	4	10	6	10	3	5	5	7	4	6	4	6		
	ラッキーレーテナガカナブン		0	0	0	0	0	0	1	0	1	0	1	0	1	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
	キンイロヒラズカナブン		29	25	多	多	40	45	6	17	0	0	0	28	21	35	29	40	42	46	35	32	39	23	34	16	31			
	シュルツサスマタカナブン		0	0	0	0	0	3	6	3	4	1	2	0	2	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	1	0		
	クビワオオツノカナブン		1	4	1	4	1	2	2	0	1	0	0	0	0	0	0	2	1	3	1	5	2	5	2	3	2	3		
	シロヘリオオツノカナブン		0	0	0	0	0	0	0	12	16	11	15	11	7	9	2	2	1	0	0	0	0	0	0	0	0	1		
	外国産																													
	以下、左：成虫 右：幼虫の個体数 (多：50頭以上)																													
ゴキブリ目	トルキスタンゴキブリ	レッドローチ	多	多	多	多	多	多	多	多	多	多	多	多	多	多	多	多	多	多	多	多	多	多	多	多	多	多		
	アルゼンチンモリゴキブリ	デュビア	多	多	多	多	多	多	多	多	多	多	多	多	多	多	多	多	多	多	多	多	多	多	多	多	多	多		
カマキリ目	メダマカレハカマキリ		0	多	7	多	5	多	4	多	15	20	24	11	28	4	19	1	17	多	12	多	11	多	5	多	4	多		
	ハナカマキリ		0	多	11	多	26	多	31	11	27	多	26	多	34	20	22	多	18	多	33	多	28	40	23	多	21	多		
カメシ目	シロモンオオサシガメ		多	多	多	多	多	多	多	多	多	多	多	多	多	多	多	多	多	多	多	多	多	多	多	多	多			
その他	チリアンコモタランチュラ		2	0	2	0	3	0	3	0	3	0	3	0	3	0	3	0	3	0	3	0	3	0	3	0	3	0		
グループ	種名(和名)	備考	R1.3末	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	その他														

生息域外保全活動

【ヒメタイコウチ】

令和元年から奈良県版レッドデータブックで絶滅寸前種に指定されているヒメタイコウチの生息域外保全事業を奈良県より受託してきたが、令和4年度は委託契約を締結し引き続き生息域外保全事業を実施した。

1. 事業依頼元

奈良県水循環・森林・景観環境部 景観・自然環境課

2. 事業期間

令和4年4月13日～令和5年3月17日

3. 事業対象種

種名：ヒメタイコウチ

学名：Nepa hoffmanni

分類：カメムシ目タイコウチ科

奈良県版 RL ランク：絶滅寸前種

4. 事業目的

ヒメタイコウチは、奈良県内では五條市、大淀町の数カ所でのみ生息が確認されており、個体数が少なく、生息地が点在している状況であるため、奈良県希少野生動植物保護に関する条例に基づきヒメタイコウチ保護管理事業の一環として、緊急的に種の保存を図ることを目的に、橿原市昆虫館と連携し生息域外保全事業を実施する。

本業務は、飼育下個体群の危険を分散し、継続して飼育下個体群を維持することにより種の保存を図るとともに、将来において野生復帰が必要な場合に備えて、飼育繁殖技術の確立、飼育下個体群の生態等科学的知見の集積を目的とする。

5. 事業経過

ヒメタイコウチ域外保全の担い手プログラムに協力し、プログラムに参加する奈良学園と奈良女子大学附属中等教育学校にヒメタイコウチ成虫18個体の譲渡と飼育指導を行った。また年度末の取り組み報告会では意見交換を行った。

令和3年に昆虫館で累代した成虫47個体のうち譲渡した個体を除く29個体を用いて繁殖を行い、成虫10個体の産出に至った。

令和元年から続く橿原市昆虫館での本事業の取り組みをまとめ、全国昆虫施設連絡協議会で発表公表した。

他施設との生体交換

昆虫施設等との生体交換		
発送		
年月日	施設名等	内容
令和4年4月11日	石川県ふれあい昆虫館	タイワンクツワムシ成虫 5、幼虫 12
5月29日	長崎バイオパーク	オオゴマダラ卵 200
6月1日	長崎バイオパーク	ハナカマキリ幼虫 6 コブナナフシ幼虫 13
	大淀川学習館	ハナカマキリ成虫 1ペア
	広島市森林公園昆虫館	コブナナフシ成虫 1ペア、幼虫 13
6月5日	足立区生物園	ハナカマキリ成虫 3
	多摩動物公園昆虫園	コブナナフシ成虫 2ペア、幼虫 10
6月13日	丸瀬布昆虫生態館	コブナナフシ幼虫 10 ハナカマキリ幼虫 5 イリオモテモリバツタ成虫 1、幼虫 9
6月30日	多摩動物公園昆虫園	メダマカレハカマキリ幼虫 12
8月22日	京都市青少年科学センター	オオゴマダラ成虫 20、卵 200 リュウキュウアサギマダラ成虫 20、卵 250
令和5年3月19日	石川県ふれあい昆虫館	リュウキュウアサギマダラ卵 100
	井頭公園花ちょう遊館	リュウキュウアサギマダラ卵 100
	伊丹市昆虫館	カバタテハ卵 100
3月22日	丸瀬布昆虫生態館	オオゴマダラ卵 200
受領		
令和4年6月7日	広島市森林公園昆虫館	ミカンスオオツノカナブン 2
6月10日	長崎バイオパーク	キンイロサスマタカナブン 3 モルガンサスマタカナブン 2 ホルニマンヒラズカナブン 2 クビワオオツノカナブン 1 オーベルチュールオオツノカナブン 1 ポリフェムスオオツノカナブン 1
6月13日	丸瀬布昆虫生態館	ミヤマオオハナムグリ 10 アクティオンゾウカブト幼虫 20

施設の概要・管理運営

施設概要

- 施設名 橿原市昆虫館
- 所在地 奈良県橿原市南山町 624 番地(香久山公園内)
- 構造・規模 管理棟・展示棟 — 鉄筋コンクリート造地下一階地上二階
 温室棟 — 鉄骨造平屋建一部地下
 新館棟 — 鉄筋コンクリート地上三階建
 渡り廊下 — 鉄骨鉄筋コンクリート造
- 敷地面積 52,156 m²
- 建築面積 2,721.61 m²

《内 訳》

本館	渡り廊下	新館棟	多目的広場	蜜源温室	食草温室	合計
1,971.3	40.42	237.96	150.18	141.75	180.00	2,721.61

(単位:m²)

- 延床面積 3,466.47 m²

《内 訳》

	管理棟	展示棟	温室棟	新館棟	渡り廊下	合計
地下1階	184.43		213.92			398.35
1階	384.61	833.59	694.09	237.96		2,150.25
2階	285.96	287.24		61.35	45.36	679.91
3階				237.96		237.96
合計	855.00	1,120.83	908.01	537.27	45.36	3,466.47

(単位:m²)

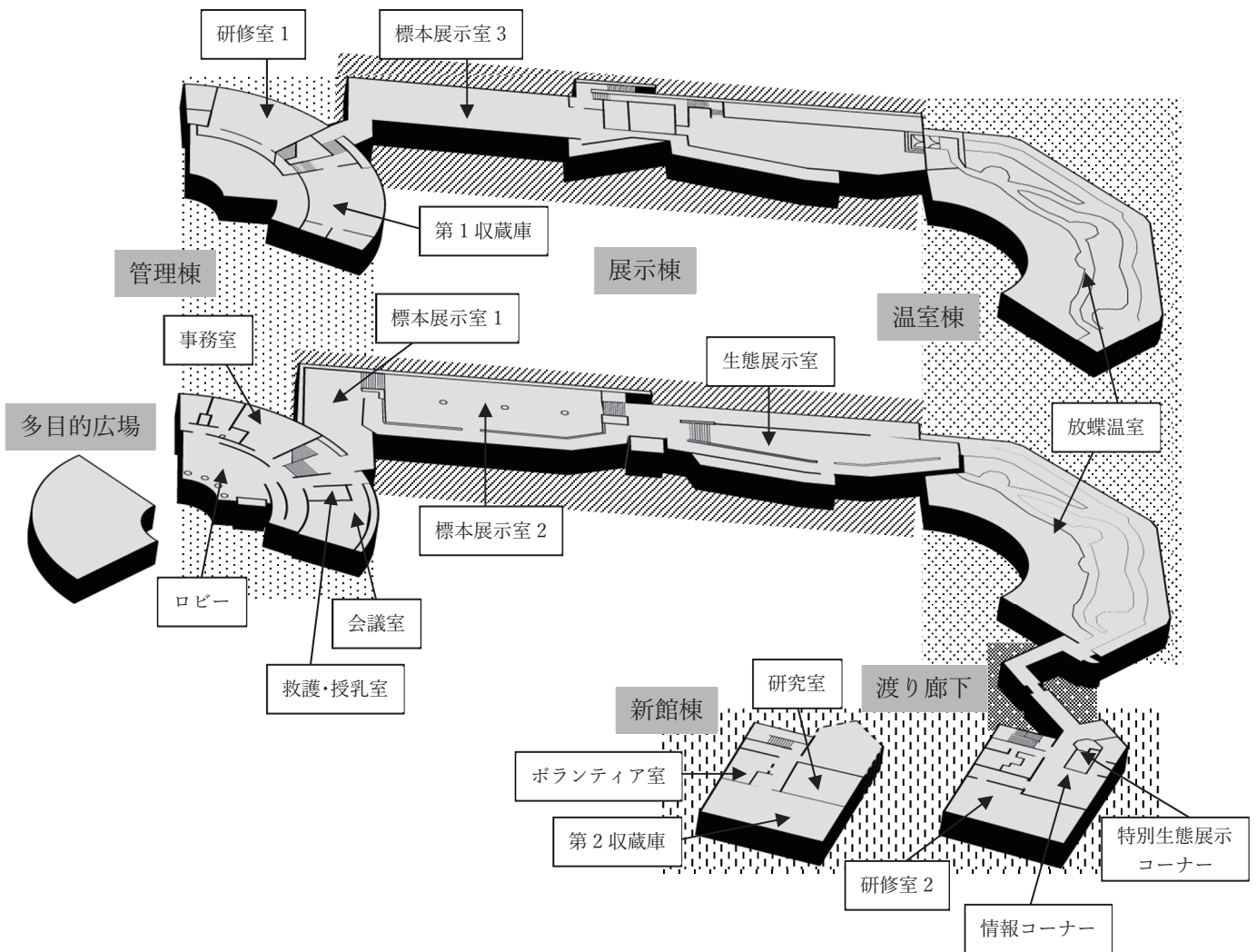
【各室面積表】

	室名	地下	1階	2階	3階	合計
管理棟	ロビー		127.63			127.63
	事務室		64.38			64.38
	会議室		66.44			66.44
	救護・授乳室		13.13			13.13
	研修室1			83.88		83.88
	第一収蔵庫			81.72		81.72
	機械室	120.45		65.29		185.74
	その他	63.98	113.03	55.07		232.08
	合計	184.43	384.61	285.96		855.00
展示棟	標本展示室・1		120.16			120.16
	標本展示室・2		275.16			275.16
	標本展示室・3			221.04		221.04
	生態展示室		163.81			163.81
	メンテ室		51.78			51.78
	その他		222.68	66.20		288.88
		合計		833.59	287.24	
温室棟	放蝶温室		496.99			496.99
	食草温室		197.10			197.10
	飼育準備室	113.61				113.61
	その他	100.31				100.31
		合計	213.92	694.09		

新館棟	研修室 2				79.56	79.56
	準備室				13.88	13.88
	特別生態展示コーナー				26.73	26.73
	情報コーナー				25.94	25.94
	研究室		37.51			37.51
	第二収蔵庫		84.00	61.35		145.35
	前室		7.15			7.15
	ボランティア室		18.51			18.51
	倉庫 1		11.04			11.04
	倉庫 2		7.61			7.61
	ピロティ		55.60			55.60
	その他		16.54		91.85	108.39
合計		237.96	61.35	237.96	537.27	
付帯施設	食草温室		180.00			180.00
	蜜源温室		141.75			141.75
	多目的広場		145.23			145.23
	合計		466.98			466.98

(単位:m²)

見取り図



石垣島圃場

・圃場の概要

場 所	沖縄県石垣市字宮良 1090 番地	
土地面積	2,337 m ²	
施設関係	管理棟 (鉄筋コンクリート造平屋建)	80.09m ²
	食草栽培用カンレイシャハウス (間口 12m × 奥行 60m)	720m ²
	蝶の飼育用ゲージ (間口 4m × 奥行 4.5m)	18m ²

- ・食草栽培用カンレイシャハウス内に植え付けている食草と蝶名

食 草	蝶
ホウライカガミ	オオゴマダラ
リュウキュウガシワ	スジグロカバマダラ
ツルモウリンカ	リュウキュウアサギマダラ
ギョボク	ツマベニチョウ・タイワンシロチョウ
ウマノスズクサ類	ジャコウアゲハ・ベニモンアゲハ
セイトカスズムシソウ	コノハチョウ・タテハモドキ

- ・カンレイシャ外に植え付けている食草と蝶を集めるために植えている吸蜜植物など

食 草	ガジュマル・ギョボク・柑橘類・ハネセンナ・ハブソウ オオイワガネ・ホウライカガミ・ツルモウリンカ・エノキ ヒマ・リュウキュウガシワ・トウワタ・サツマイモ 等
吸蜜植物	ハイビスカス・ランタナ・ペンタス・ブーゲンビレア ツンベルギアエレクトア・サンタンカ・タイワンレンギョウ 等

組 織

(令和4年4月1日現在)

櫃原市 魅力創造部 昆虫館

職員名簿

館 長 久米 智
 課長補佐 松村 忠志 (学芸員)
 副統括 (専門官) 木村 史明 (学芸員)
 統括調整員 山本 晃
 係 長 辻本 始 (学芸員)
 副主任 井上 吉成
 主 査 久保 圭史
 技 師 池田 大 (学芸員)

橿原市昆虫館協議会

令和4年度橿原市昆虫館協議会委員名簿		
氏名	役職	備考
宮武 頼夫	元大阪市立自然史博物館館長	学識経験者
服部 保	兵庫県立大学名誉教授	学識経験者
吉村 昭信	奈良県病虫害防除所所長	関係行政機関
國本 佳範	元日本応用動物昆虫学会評議員	学識経験者
伊藤 ふくお	昆虫生態写真家・ならむしの会会長	学識経験者
森田 千景	橿原市地域家庭教育推進協議会会長	家庭教育の向上に資する活動を行う者
大槻 正章	橿原市南山町総代	地域代表者
前田 善彦	橿原市小学校校長会代表 (橿原市立香久山小学校長)	学校教育及び社会教育の関係者

(敬称略)

入館者数・入館料収入

令和4年度橿原市昆虫館利用状況

入館者数

77,403 人

内訳	個人	団体	障害者	介護者	天ノ香具山南 協働会	スルッと KANSAI	ユネスコ 割引	昆虫館友の会	飛鳥・万葉 お楽しみ/ お散歩 クーポン	合計	
有料	56,075 人	6,069 人	1,414 人	1,046 人	0 人	0 人	0 人	0 人	196 人	64,800 人	
内訳	大人	35,114 人	26 人	666 人	992 人	0 人	0 人	0 人	141 人	36,939 人	
	学生	584 人	0 人	46 人	3 人	0 人	0 人	0 人	1 人	634 人	
	小人	20,377 人	6,043 人	702 人	51 人	0 人	0 人	0 人	54 人	27,227 人	
無料										12,603 人	
内訳	引率者等										1,293 人
	無料者										114 人
	団体3歳児										10,727 人
	土曜無料者										469 人

開館日数		315 日
一日平均入館者数		246 人
一日最高入館者数	平成34年8月14日	1,078 人
一日最低入館者数	平成35年1月24日	10 人

令和4年度 月別 橿原市昆虫館利用状況集計表

月	入 館	延 入 館	売上額 (円)	延売上額 (円)
	人員 (人)	人 員 (人)		
4	6,026	6,026	1,730,200	1,730,200
5	9,737	15,763	2,626,930	4,357,130
6	6,776	22,539	1,724,680	6,081,810
7	7,903	30,442	2,346,460	8,428,270
8	13,228	43,670	3,969,850	12,398,120
9	7,365	51,035	2,011,590	14,409,710
10	6,134	57,169	1,570,950	15,980,660
11	5,113	62,282	1,220,260	17,200,920

12	2,469	64,751	668,360	17,869,280
1	3,913	68,664	1,187,360	19,056,640
2	3,715	72,379	1,094,370	20,151,010
3	5,024	77,403	1,444,870	21,595,880
合計	77,403	77,403	21,595,880	21,595,880

条例等

○橿原市昆虫館条例

平成元年6月21日条例第21号

改正

平成9年3月26日条例第3号

平成9年12月24日条例第25号

平成13年3月27日条例第9号

平成15年9月30日条例第17号

平成17年6月30日条例第20号

平成21年12月25日条例第32号

平成24年3月28日条例第6号

平成25年12月26日条例第26号

令和元年6月28日条例第13号

令和2年12月25日条例第40号

令和3年12月24日条例第31号

(設置)

第1条 橿原市は、昆虫をはじめとする動植物に関する自然史資料の収集、保管（育成を含む。）、展示を行うことにより市民の教養文化の向上に寄与するとともに、合わせてこれらの資料に関する調査研究を行うため、昆虫館を設置する。

(名称及び位置)

第2条 昆虫館の名称及び位置は、次のとおりとする。

名称	位置
橿原市昆虫館	橿原市南山町624番地

(事業)

第3条 昆虫館において行う事業は、次のとおりとする。

(1) 実物、標本、模型、文献、図書、図表、写真、フィルム等（以下「昆虫館資料」という。）の収集、

保管、展示及び閲覧

(2) 飼育、繁殖及び栽培に関する技術的研究及び生態展示

(3) 展覧会、講習会、実習会、研究集会等の開催及び指導

(4) 昆虫館資料及び自然史に関する調査研究並びにその結果の公開

(5) 昆虫館資料の貸出

(6) 他の昆虫館、学校、学会その他の関係機関との連絡及び協力

(7) その他昆虫館設置の目的を達するために必要な事業

(入館の制限等)

第4条 市長は、次の各号のいずれかに該当するときは、入館を拒否し、又は退館させることができる。

(1) 公の秩序又は善良の風俗を乱すおそれがあると認められるとき。

(2) 他人に迷惑をかけ、又は迷惑をかけるおそれがあるとき。

(3) 昆虫館資料、施設又は設備を損傷させるおそれがあるとき。

(4) 温室内の植物を採取し、又は損傷したとき。

(5) 昆虫館内の動物を捕獲し、又は殺傷したとき。

(6) 管理上必要な指示に従わないとき。

(7) その他支障があると認めるとき。

(観覧料)

第5条 昆虫館の展示場に入館しようとする者（以下「入館者」という。）は、別表に掲げる観覧料を納めなければならない。

2 市長は、入館者が次の各号のいずれかに該当する

ときは、前項の観覧料の全部又は一部を免除することができる。

- (1) 身体障害者手帳又は療育手帳の交付を受けた者及びその介護を行う者
 - (2) その他市長が特別の理由があると認める者
 - 3 既納の観覧料は、還付しない。ただし、市長が特別の理由があると認めるときは、この限りでない。
- (協議会)

第6条 昆虫館に榎原市昆虫館協議会（以下「協議会」という。）を置く。

- 2 協議会の委員（以下「委員」という。）の定数は、10人以内とする。
- 3 委員は、学識経験者、学校教育及び社会教育の関係者、家庭教育の向上に資する活動を行う者、関係行政機関の職員並びに地域の代表者の中から市長がこれを任命する。
- 4 委員の任期は、2年とし、再任を妨げない。ただし、委員が欠けた場合における補欠の委員の任期は、前任者の残任期間とする。
- 5 第1項から前項までに定めるもののほか、協議会に関し必要な事項は、市長が別に定める。

(委任)

第7条 この条例の施行について必要な事項は、市長が別に定める。

附 則

この条例は、公布の日から施行し、榎原市昆虫館の供用開始の日から適用する。

附 則（平成9年条例第3号）

この条例は、平成9年4月1日から施行する。

附 則（平成9年条例第25号）

- 1 この条例は、平成10年4月1日から施行する。
- 2 この条例の施行の際、現にこの条例による改正前の榎原市使用料条例、榎原市福祉センター条例、榎原市昆虫館設置及び管理に関する条例、榎原市斎場設置及び管理に関する条例、榎原市公園条例、榎原市立体育館設置及び管理に関する条例、榎原市万葉の丘スポーツ広場条例、榎原市まちなみ交流センター設置及び管理に関する条例又はかしはら万葉ホール条例の規定により使用の承認又は許可を受けている者の当該使用に係る使用料については、なお従前の例による。

附 則（平成13年条例第9号）

- 1 この条例は、平成13年7月1日から施行する。

- 2 この条例の施行の際、現にこの条例による改正前の榎原市公園条例又は榎原市昆虫館設置及び管理に関する条例の規定により使用の許可を受けている者の当該使用に係る使用料については、なお従前の例による。

附 則（平成15年条例第17号抄）

(施行期日)

- 1 この条例は、公布の日から施行する。

附 則（平成17年条例第20号）

この条例は、公布の日から施行する。

附 則（平成21年条例第32号）

この条例は、平成22年4月1日から施行する。

附 則（平成24年榎原市条例第6号）

この条例は、平成24年4月1日から施行する。

附 則（平成25年条例第26号抄）

(施行期日)

第1条 この条例は、平成26年4月1日から施行する。

(経過措置)

第2条 次条及び附則第4条に定めるものを除き、この条例による改正後の各条例の規定は、この条例の施行の日（以下「施行日」という。）以後に行う資産の譲渡等（消費税法（昭和63年法律第108号）第2条第1項第8号に規定する資産の譲渡等をいう。以下同じ。）について適用し、施行日前に行った資産の譲渡等については、なお従前の例による。

附 則（令和元年6月28日条例第13号）

(施行期日)

第1条 この条例は、令和元年10月1日から施行する。

ただし、附則第3条の規定は公布の日から施行する。

(経過措置)

第2条 この条例の施行の際現にこの条例の規定による改正前の各条例（以下「旧条例」という。）の規定により使用の承認を受けている者の当該使用に係る使用料（入館料、管理料、土石採取料等を含む。）又は旧条例の規定により申請、申込み等をしている者の当該行為に係る手数料については、なお従前の例による。

第3条 この条例の施行の日（以下「施行日」という。）

以後の使用に係る利用料金の額の定めは、施行日前においても、この条例による改正後の各条例の規定による使用料の額を超えない範囲内において、行うことができる。

附 則（令和2年12月25日条例第40号）

- 1 この条例は、令和3年4月1日から施行する。ただし、第3条、第4条（かしはら万葉ホール条例第16条第2項第1号の改正規定に限る。）、第6条、第15条、第17条、第18条（橿原市新沢千塚公園拠点施設条例第8条第1号の改正規定に限る。）及び附則第3項の規定は、公布の日から施行する。
- 2 この条例の施行の日（以下「施行日」という。）において、現にこの条例（前項ただし書に規定する各規定を除く。）による改正前の各条例（以下「旧条例」という。）の規定により使用の承認を受けている者の当該使用に係る使用料又は旧条例の規定により申請、申込み等をしている者の当該行為に係る手数料については、なお従前の例による。
- 3 施行日以後の使用に係る利用料金の額の定めは、施行日前においても、この条例による改正後の各条例の規定による使用料の額を超えない範囲内において、行うことができる。

附 則（令和3年12月24日条例第31号抄）

（施行期日）

第1条 この条例は、令和4年4月1日から施行する。

（後略）

（経過措置）

第2条 この条例の施行前に、この条例による改正前の各条例の規定によりなされた行為又は手続は、この条例による改正後の各条例の相当する規定によりなされた行為又は手続とみなす。

表（第5条関係）

区分	観覧料（1人1回につき）	
	個人	団体
大人	520円	左欄に掲げる額の10パーセントを減じた額とする。ただし、100人以上の団体の場合は、左欄に掲げる額の30パーセントを減じた額とする。ただし、これらの額に10円未満の端数がある場合については、その端数金額を切り捨てた額とする。
学生	410円	
小人	100円	

備考

- 1 学生とは、高等学校、大学及びこれらに準ずるものの生徒及び学生をいう。
- 2 小人とは、幼稚園、小学校、中学校及びこれらに準ずるものの園児、児童及び生徒等をいう。
- 3 団体とは、30人以上で責任者が引率している場合をいう。

昆虫館関連団体 榎原市昆虫館友の会

■会 長 前田 一郎

令和4年度行事報告

日程	行事名	内容	場所	参加者数
4月16日(土)	スタッフミーティング	春の虫観察会打合せ	昆虫館	
4月24日(日)	●春の虫観察会	春の虫観察	大和民俗公園	23名(大人16名、小人7名)
6月11日(土)	●オオムラサキ観察会	バタフライガーデンで飼育するオオムラサキの観察	昆虫館	59名(大人35名、小人24名)
7月9日(土)	スタッフミーティング	夏の虫観察会打合せ	昆虫館	
7月24日(日)	●夏の虫観察会	夏の生き物観察会	蜻蛉の滝周辺(川上村)	43名(大人23名、小人20名)
8月28日(日)	●移動昆虫調査会	イチモンジセセリ、アサギマダラ、アキアカネなどの移動昆虫調査会【合同調査会】	大和葛城山	28名(大人17名、小人11名)
9月10日(土)	スタッフミーティング	★秋の虫観察会打合せなど	昆虫館	
9月17日(土)	●秋の虫観察会	秋の虫観察会、夜の森で虫探し	甘樫の丘	22名(大人15名、小人7名)
12月10日(土)	スタッフミーティング	冬の虫観察会打合せ、来年行事の打合せ	昆虫館	
12月18日(日)	●冬の虫観察会	冬の虫観察	二上山(竹ノ内峠周辺)	26名(大人17名、小人9名)
令和5年 1月14日(土)	スタッフミーティング	来年行事、総会など打ち合わせ	昆虫館	
2月4日(土)	(評議員会)	総会打合せ、来年度行事計画作成	昆虫館	
2月25日(土)	スタッフミーティング	総会打合せ、来年度行事計画作成	昆虫館	
3月5日(日)	●2022年度総会	2022年度の総会	昆虫館	
3月19日(日)	友の会サロン	★入会案内、総会資料、行事予定、会員証発行、春の虫観察会打合せ	昆虫館	

昆虫館関連団体 虫いっばいの里山づくり隊

■会 長 宮武 頼夫

1. 虫いっばいの里山作り隊会則

(名称及び事務局)

第 1 条 会の名称は虫いっばいの里山づくり隊とし、事務局を橿原市昆虫館（以下「昆虫館」という）内に置く。

(目的)

第 2 条 本会は昆虫館周辺の橿原市が所有する公園および丘陵地において、虫いっばいの里山を目指し、里山環境の整備を行い、自然や生き物を保護・保全または再生し、地域の子ども達や住人が安全かつ安心して自然に親しむことのできる場所を作することを目的とする。

(活動内容)

第 3 条 本会は昆虫館等との連携により次の活動を行う。

- (1) 昆虫をはじめ、多様な生物が生息できる里山環境整備。
- (2) 昆虫や自然に親しみ、会員相互の交流、親睦を深めるための自然環境教育等の普及活動。
- (3) 昆虫館来館者に対して昆虫への理解を促進するための館内案内及び昆虫館主催行事の補助活動。

(会員)

第 4 条 本会は第 2 条の主旨に賛同するボランティアにて構成する。

(役員)

第 5 条 本会に代表を 1 名置き、任期は 1 年とする。ただし再任を妨げない。

(運営及び会計)

第 6 条 本会の運営は会員が自主的に行う。
 (1) 本会の経費は寄付金その他の収入をあてる。ただし、収入がない場合は橿原市の助成を受けるものとする。

(2) 会計年度は 4 月 1 日に始まり、翌年の 3 月末日に終わる。

(その他)

第 7 条 この規則に定めるもののほか必要な事項はその都度定める。

附則 この会則は 2005 年 7 月 1 日から施行する。

2011 年 4 月 1 日一部改正

2. 活動状況

年月日	活 動 内 容
4 月 10 日	蝶のルートセンサス
4 月 13 日	活動計画の確認・観察路整備
4 月 24 日	下草刈り
5 月 11 日	下草刈り
5 月 15 日	蝶のルートセンサス
5 月 22 日	観察路整備
6 月 8 日	下草刈り
6 月 12 日	蝶のルートセンサス
6 月 26 日	下草刈り
7 月 6 日	下草刈り
7 月 13 日	下草刈り、蝶のルートセンサス
7 月 24 日	観察路整備
8 月 11 日	蝶のルートセンサス
9 月 11 日	蝶のルートセンサス
9 月 14 日	下草刈り
9 月 25 日	観察路整備
10 月 12 日	観察路整備、蝶のルートセンサス
10 月 23 日	下草刈り
11 月 9 日	下草刈り、蝶のルートセンサス
11 月 27 日	竹林整備
12 月 14 日	ミニ門松作り準備
12 月 25 日	ミニ門松作り
令和 5 年	ササユリ・ヤマユリ環境整備
1 月 11 日	
1 月 22 日	観察路整備
2 月 8 日	竹籬作り準備
2 月 26 日	竹籬作り
3 月 8 日	下草刈り
3 月 22 日	蝶のルートセンサス
3 月 26 日	下草刈り

・その他 適宜、花壇整備を行った